

新型コロナ後の世界に向けて



明けましておめでとうございます。今年も皆様の上に神様のお守りがありますよう祈ります。

さて、昨年は春先から世界中にあっという間に広がり、人々の生活や経済・社会に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス（COVID-19）が猛威を振るった1年でした。2020年は、新型コロナウイルスの脅威が起こった歴史的な年として、人々の記憶に残る年となるかもしれません。

感染の広がっていく世界がもたらした効果として、On Lineでの会議やリモートワークが我々にとって一気に身近なものとなりました。人の移動や会合は制限されてもネットを通しての交流が広がり、また情報は国を超えて流れてきます。

したがって、直接の交流がなくても人々はOn Lineで結びつくことができ、情報はネットを通じて得ることができるから問題ないと思いがちです。

しかし、ネット上で流れてくる情報は、世界の全体像ではなく、自分にとって見たい、知りたい都合のいい情報しか流れてこないということを、私たちは自覚しておかなければなりません。意識しなければ、現在のように、人の結びつきや直接の交流が制限される状況の下では、直に現場にいなければわからないような、生の情報が見落とされる恐れがあるからです。

このため、国内外で社会的、経済的な弱者とされた人々の置かれている状況の把握がますます難しくなる事が予想されます。

コロナ後の世界がどのようなものか、まだ誰にも予想はつきませ

ん。しかしこのウイルスがもたらす影響で世界経済の悪化は避けられそうにありません。

先進国ではいち早くワクチンを確保し比較的早く経済的にも立ち直れるかもしれませんが、しかし一方でワクチンを確保できない国々との間で経済格差が広がることも考えられます。

感染対策で国内の対応に追われ、経済的にも余裕のなくなった国々の間では、コロナ以前から広がりつつあった自国中心主義がさらに広がり国際協調が後退する可能性も否定できません。

このように、コロナ後の世界においても、私たちは、この事態の中で陰に隠れて見えなくなった課題や社会や世界の分断に目を向けていくことが求められてくるかもしれません。

このような状況の下、京都YMCAでは、新たに中期計画を策定し2023年までの3か年に既存事業や組織の改革を進めていこうとしており、「地域から必要とされる存在になる」を主題として掲げています。この中期計画において、京都YMCAは、私たちの地域での存在意義を改めて問い直し、この新型コロナが失わせた人々のつながりの再生や地域社会の課題に取り組む働きをして行かなければならないと思っています。

そのためにも、引き続き皆様のお支えと祈りの中で、京都YMCAはその活動を続けていかなければならないと思っています。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

京都YMCA 総主事 加藤 俊明

【×切延長】1月25日まで申し込みできます
インターナショナル・チャリティーラン2020

開催期間：1月16日（土）～1月31日（日）

好きな時・好きな場所で走って歩いてチャリティー！参加賞はマスク＆マスクケース！参加者の走行距離の合計で、東海道五十三次（京都～東京間493km）走破を目指そう。

Amazon「みんなで応援」プログラム
 物品寄付のご支援をお願いいたします。

各種団体・施設が、支援を希望する物資をAmazonの「ほしい物リスト」で公開し、団体を応援したい方がそのリストから商品を購入すると、応援物資として支援先に届く取り組みです。詳しくは京都YMCAホームページをチェック！

詳しくは案内をご覧ください。

お問い合わせ先

京都YMCA本部事務局
 075-231-4388
kyoto@ymcajapan.org

2月24日はピンクシャツデー！

明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう。

ピンクシャツデーとは、2007年にカナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられたことを知った先輩学生の2人が、「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」とネットで呼びかけたところ、翌日、数百名の生徒がピンクの服や小物を身に付け、学校中がピンクに染まりました。

このエピソードがSNSで拡散され、世界中に広がっています。

新型コロナウイルスは、私たちの生活に不安をもたらし、心ない偏見や差別を生み出しました。YMCAは、いじめの問題に向き合い、一人ひとりがポジティブに生きるため、ピンクシャツデーの運動に取り組んでいます。

京都YMCAでは、ピンクシャツデーのキャンペーンを実施します。ピンクの服や小物を身に付けて、いじめや偏見、差別をなくすためのアイデアをシェアしましょう。

YMCA PINK SHIRT DAY

#YMCAPINK
#StaySafe,StayConnected



クリスマスの思い出



YMCA三条保育園アドヴェント礼拝

クリスマスを迎える準備期間、アドヴェント。クリスマス前の4週間、礼拝をしました。「救い」「愛」「喜び」「平和」の願いを込めて、4本のろうそくが灯りました。

クリスマスの飾りつけ

ワイズメンズクラブの皆さんや、保育園の皆さん、たくさんの方にご協力いただき、京都YMCAのクリスマスはとても華やかになりました。大きなツリーや、手作りのオーナメント、色鮮やかなイルミネーション。心温まる、すてきなクリスマスを迎えることができました。



📢 SNSで最新情報をお届け！

京都YMCAでは、SNSにて最新情報やプログラムの活動の様子を随時配信しております。ホームページやYMCANEWSに掲載されていない情報も発信していますので、是非チェック＆フォローをお願いします。



📧 メール配信サービスのススメ

YMCANews（京都版）は、京都YMCAのメール配信サービスにも掲載しております。メール配信での購読をご希望の方は、QRコードからアクセスの上、ご登録ください。

